

令和6年度 碧南市いじめ問題専門委員会 会議録

1 日時

令和6年7月31日（水）午後2時から午後3時30分まで

2 場所

碧南市役所5階 教育委員会室

3 出席者及び欠席者

(1) 出席者

杉原浩介委員、豊田夕奈委員、黒川雅幸委員、前橋 恵委員

(2) 欠席者

岩本奈織野委員、

(3) 事務局職員

教育部長 山田昌宏、学校教育課長 森川和浩、学校教育課課長補佐 小林真代、
学校教育課指導主事 山田晃広

4 傍聴者 0人

5 議題

(1) 令和5年度いじめの現状について

(2) 令和6年度1学期現在のいじめ発生状況について

(3) その他

6 議事の要旨

(1) 令和5年度いじめの現状について

事務局が会議資料に基づき説明した。

前年度と比べ4件減っており、他市町と比較すると件数は少ないと感じている。いじめについては積極的に認知する方向で動いており、「いじめ見逃しゼロ」を合言葉に対応している。いじめを認知した後、どのように対応していくかが重要と考えており、いじめを訴えてきた児童・生徒に寄り添った対応をしている。いじめが解消したかどうかは、3カ月以上訴えがないことや、被害者が精神的な苦痛を感じていないことなどから判断をしている。いじめの様態は冷やかしやからかい、悪口、仲間外れが多く、小学校は中学年、中学校は1年生で多いのが現状である。中学校1年生の事案の多くは、SNSを介した悪口や仲間外れである。いじめの発見のきっかけは、毎学期実施している生活アンケートや、普段の生活日記などによる本人や保護者からの訴えで、主に担任が相談相手となるが、再発防止に向けて、職員間で情報共有を図り、チームでいじめ解消にむけて取り組んでいる。早期発見・早期対応、心のケア、情報モラル教育等に努め、カウンセラーや警察など関係諸機関と連

携を図りながら、組織的な対応に努めている。

<主な意見・質疑>

前橋委員 本人からの訴えはいじめであるが、いじめではない事案もここには入っているか。

事務局 本人がいじめと訴えてきたものはすべていじめとして認知しており、いじめとして解消に努めている。

杉原委員 いじめの解消要件については3カ月訴えがない場合としているが、毎回毎回アンケートを行って確認しているのか。

事務局 アンケートに書いていないから解消と判断するのではなく、担任による相談や見守りを行う中で個々の様子を確認し判断している。

黒川委員 アンケートの実施時期は市全体で決めているのか。各学校に任せているのか。

事務局 各学期が終わるひと月前頃を目途に実施している。その時期に実施する理由として、アンケート実施後、本人と面談、保護者との懇談と順番に行うことができるよう、学校側と生徒指導の会で話し合い決めている。アンケートの内容についても、生徒指導の会で話し合い、市内統一の内容で、小学校用、中学校用のアンケートを実施している。それ以外で必要な事項があれば、各学校独自の質問を加えて実施している。

杉原委員 アンケートは記名式か。

事務局 記名式である。

杉原委員 碧南市に小学校、中学校はそれぞれ何校あるのか。

事務局 小学校7校、中学校5校。

豊田委員 それぞれ規模はどれくらいになるのか。

事務局 小学校は、小さいところでは1学年2学級、多いところで4学級、中学校は、少ないところで2学級、多いところで6学級。

杉原委員 小学校1校で中学校1校のところはあるのか。

事務局 3地区ある。碧南の特徴である。

杉原委員 小中続くという感じなのか。

事務局 西端、新川、中央は小中同じメンバーということになる。

前橋委員 SNSの関係は何割くらいか。またその事例の特徴はどんな感じか。

事務局 例えば学級規模や学年規模のLINEであれば、誰かを卑下するような書き込み、小集団グループであれば特定の子をブロックするようなことが多い。使い方が不十分な1年生で多く事案が発生したというのが昨年度の特徴。

人間関係がうまく構築できない年ごろであり難しい。教員から見えないところで事案が起きたり、外部の者となつがってトラブルになるケースもある。良くない誘いや犯罪につながる事案など多岐に渡る怖さがある。

前橋委員 本人からの訴えが多いのか。それともそれ以外の所から把握するのか。
事務局 本人から若しくは保護者からが多いが、大勢のグループだと、心配した生徒が教員に打ち明けてくれることもある。他者を思いやる気持ちを伝え続けていく事で早期発見に繋がると感じており、友達を大切にすることの大切さを伝えるなど、心に働きかけるような取り組みに努めている。

豊田委員 これは学校内での状況か。

事務局 概ね学校内で起きた事案である。

豊田委員 SNS でつながった外部での事案に対してはどうか。

事務局 そういう事案は今のところ上がっていない。

(2) 令和6年度1学期現在のいじめの発生状況について

事務局 すでに14件発生しており、昨年度の半分となっている。中学校での発生が多く見られる。SNS等での誹謗中傷が増加傾向である。コロナの弱まりとともに子どもたちの活動が活性化している影響もあると思われる。学校では、生活アンケートや日記を活用し、個別に相談を実施するなど、児童生徒の見守りに努めている。

<主な意見・質疑>

なし。

(3) その他

碧南市情報公開条例第7条第1項第1号に該当する個人に関する情報が含まれるため、碧南市附属機関等会議公開規程第3条第1項第1号に基づき、会議を非公開として進行。